

「『4000万人』の実現に向けた訪日旅行ビジネス交流会」を開催 ～迎賓館を初めて活用したビジネスネットワーキング交流会～

国土交通省は日本政府観光局（JNTO）と共に、訪日外国人旅行者数を2020年に年間4000万人とする目標の達成に向け、内外の観光関係者による新たなネットワーク形成と、さらなる訪日旅行ビジネスの拡大を目的として、迎賓館を初めて活用したビジネス交流会を平成28年11月に開催しました。

交流会には、欧米やアジアを中心とした海外メディアや旅行会社、外国人有識者などを含む、訪日観光を支えている内外の関係者約200名もの方々に出席いただき、活発な意見交換がなされました。海外の参加者からは「日本の関係者と有意義な意見交換ができた。JNTOとも連携し、訪日旅行商品の造成や販売を拡大していきたい」と改めて訪日旅行ビジネスへの意欲を示していただきました。

また、川井郁子氏によるヴァイオリンや榎戸二幸氏の箏曲、地酒の提供、日本各地の観光地のVTR紹介など、迎賓館が持つ雰囲気を活かしながら、和と洋が融合した日本独自の文化や地域の魅力などを発信しました。参加者からは、迎賓館という特別な施設を使用した格調高いレセプションへの評価や、日本文化への理解が深まったなどの声が寄せられました。

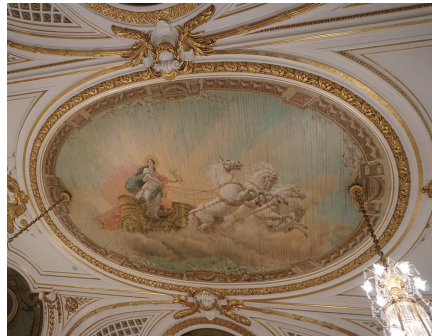
今回の交流会は、「明日の日本を支える観光ビジョン」（平成28年3月政府発表）に盛り込まれた公的施設や文化財の活用を図る「魅力ある公的施設の開放」の方針に基づき迎賓館で開催しました。これをリーディングケースとして、今後、公的施設や文化財を活用したイベントの開催が全国各地で図られることが期待されます。



迎賓館赤坂離宮 本館



石井国土交通大臣の挨拶



朝日の間（天井絵画）



懇談する米国人ジャーナリスト エバレット・ブラウン氏と国内観光関係者



内外の関係者同士による意見交換の様子



箏奏者 榎戸二幸氏による演奏



地酒を楽しむ海外の参加者